

液状化現象



液状化現象は、ゆるく堆積した砂地盤に強い地震動が加わることによって、まるで液体のように一時的にやわらかくなり、建物などを支える力を失い大きな被害をもたらします。人口の集中した平野部でも起こる地盤の災害で、道路やライフラインが寸断されるなど生活に支障をきたします。

〔液状化が生じると〕

地中から水や砂を吹き上げたりする。
(噴砂現象)



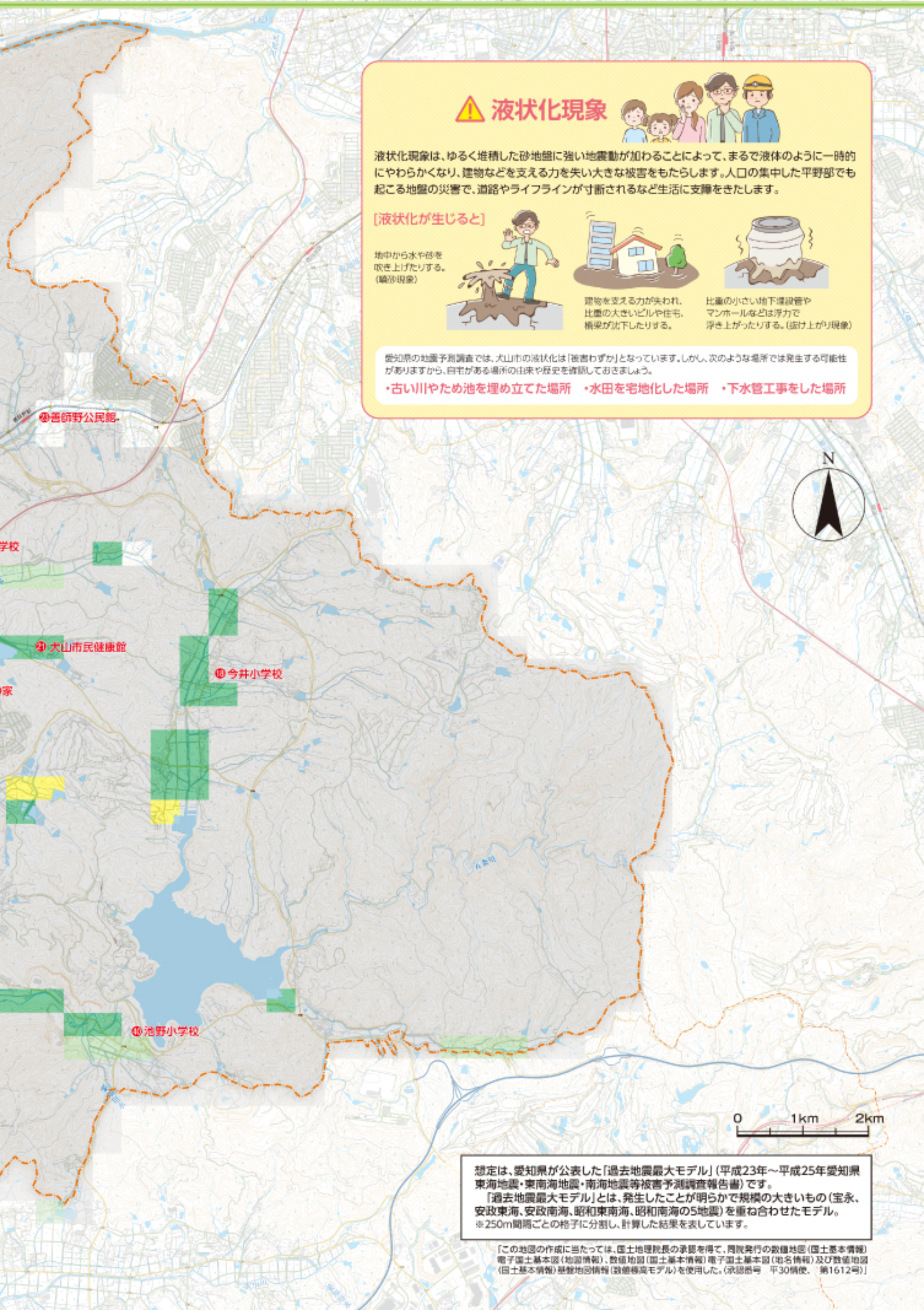
建物を支える力が失われ、比重の大きいビルや住宅、橋梁が沈下したりする。



比重の小さい地下埋設管やマンホールなどは浮力で浮き上がったりする。(抜け上がり現象)

愛知県の地震予測調査では、大山市の液状化は「被害わずか」となっています。しかし、次のような場所では発生する可能性がありますから、自宅がある場所の由来や歴史を確認しておきましょう。

・古い川やため池を埋め立てた場所 ・水田を宅地化した場所 ・下水管工事をした場所



想定は、愛知県が公表した「過去地震最大モデル」(平成23年～平成25年愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査報告書)です。

「過去地震最大モデル」とは、発生したことが明らかで規模の大きいもの(宝永、安政東海、安政南海、昭和東南海、昭和南海の5地震)を重ね合わせたモデル。

※250m間隔ごとの格子に分割し、計算した結果を表しています。

【この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び数値地図(国土基本情報)景観地図情報(数値等高モデル)を使用した。(承認番号 平30情使、第1612号)】